

**コロナ感染症の猛威の中で** 西山仏讃歌の会 委員長 田中 随晋



西山仏讃歌の会 号外  
2020年9月1日 発行

七月の各地での大雨被害、八月の猛暑を通り越した体温を上回る酷暑、そして感染が収まらないコロナ感染症の猛威の中、例年とは違った形での夏を過ごしてまいりましたが、会員の皆さんにはお変わりございませんかお伺い申し上げます。

二月末より、仏讃歌の会の活動も自粛状態で四月の御忌、五月の浄音上人七五〇回忌と総本山光明寺ご本尊前での奉納も中止となり、各地区での行事や練習会の開催も困難な状況が続くなど、不安や不満の心が大きくなつて「生きる力」が弱くなつているのではないのでしょうか。

「念ずれば花開く」の詩で有名な仏教詩人、坂村真民様に次のような詩がある。

**死のうと思う日はないが  
生きてゆく力がなくなることがある  
そんな時お寺を訪ねて  
わたしはひとり 仏陀の前に座ってくる  
力わき明日を思おう心が  
出てくるまで座ってくる**

現在、お寺に大勢集まることは難しい状況にあります。このような時だからこそ、一人で仏様にお会いしに行くのも素晴らしいことではないでしょうか。

お寺に行くことが難しくければ、ご自宅のお仏壇の前に座って、そして、仏様と会話を交わして下さい。そうすれば、真民様の言葉のように「力がわき、明日を思う心が出てくる」かも知れません。

仏様は、見て下さっています、聞いて下さっています、そして知って下さっています。

又皆様とお目にかかれ一緒に仏讃歌を歌えることを楽しみにしています。

西山仏讃歌の会 事務局長 福井 共子

全国の会員の皆様そして当西山仏讃歌の会に対しまして、いつもご支援ご協力いただいております全国のご寺院ご住職さま・ご内室さまお元気でしょうかお変わりありませんか。今年の夏は「特別な夏」になりました。去る1月31日（金）第19回総会を最後にすべての活動が休止となりました。目に見えない怖いウイルスに毎日ビクビクしながら、もう半年余りが過ぎました。日本中が、世界中が大変な渦の中に巻き込まれています。

親しい人間同士を隔て普通の暮らしを壊し、命さえ奪う怖い感染症。この感染症拡大防止のため、ご本山の御忌会を始め各種大きな法要がすべて山内法要になりました。私達仏讃歌の会も全部中止になってしまいました。何もかも中止・中止、自粛・自粛で心が萎えそうですが、新しい生活様式を模索しながら、生きていくしか方法はなさそうですね。安心して過ごせる収束のニュースが一日も早く聞けますように。そしてこの新型ウイルスという憎い相手に打ち勝って、皆様と元気で笑ってお会い出来ます日を楽しみに今暫く辛抱・我慢いたしましょう。

尚、9月15日発行「第39号仏讃歌だより」は各支部の活動自粛により休止させていただきます。追って活動が再開いたしました折には当会に対しまして更なるご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。

今年も九州を始め日本中各地で大雨による甚大な被害が出ました。犠牲になられた方々の冥福をお祈り申し上げますと共に、一日も早い復興と普通の生活に戻れますよう念じ上げます。立秋もすぎお盆も過ぎましたが、連日猛暑日が続いています。お暑うございますくれぐれもお暑さにそしてコロナにお気をつけてくださいますようお願い申し上げます。